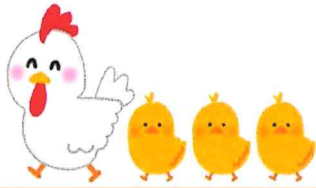


# ぴよぴよ



発行：相模台地区社会福祉協議会

編集：児童・障がい者部会

〒252-0321 相模原市南区相模台 1-13-5

(まちづくりセンター内) ☎042-705-1422



## 相模原南児童ホーム 訪問記

8月21日相模台地区社会福祉協議会、児童障がい者部会のメンバー10名で『相模原南児童ホーム』を見学して来ました。

児童障がい者部会の研修として見学と現況や課題についてお話しいただきました。

相模原南児童ホームとは、さまざまな理由で親と一緒に住めないこどもを社会的に養育し、保護する施設です。

**Q:相模原南児童ホームってどういうところ?**

A;乳児院と児童養護施設の両方の機能を持ち合わせていて、0歳~18歳までが入所できるそうです。

特に、乳児院は相模原市内唯一とのこと。

**Q:どういう子供が入所しているの?**

A;現在、入所理由の「ほぼ100%が虐待ケース」という事です。

このことに、一番衝撃を受けました。

テレビ等のニュースで見聞きしていたけれど、自分事と捉えた事はありませんでした。



こんなに身近な場所でこのような話を聞くと、とてもショックで悲しい気持ちになりました。



### まちがいさがし

(正)

(誤)



ボク「ニコまる」紅葉のキレイな山に秋の味覚を探しに来たよ。右の絵にまちがいが7つあるから、さがしてみてね♡



答えは裏にあるよ



## ～相模原南児童ホーム 訪問記続き～

### Q:施設の様子は?

A;施設内は、年齢(乳幼児・児童)、性別で別れたユニットになっていました。

個室部分も共用部分も採光が配慮されて明るく、またよく整頓されていました。

### Q:どんな職員の方がいらっしゃるの?

A;保育士、看護師、児童指導員、栄養士などの有資格者をはじめ、アルバイト・ボランティアの学生などです。

1ユニットは6~8名で構成され、複数の職員を配置しています。



### Q:課題は?

A;現在、設置に必要な職員数は満たしていますが、入所者数に対しては十分とはいえず、人手不足の状況のようです。

例えば、児童の通院などの付き添いがあると、残された職員が2人や3人で2つのユニットを見なくてはいけないこともあるそうです。

### Q:感想は?

A;今回の訪問を通じて、「親ってなんだろう」「子供ってなんだろう」「家族ってなんだろう」と考えてしまいました。

社会の変化、それに伴う価値観等の変化で「家族」の在り方も変化しているのも事実。だからと言って「虐待」が正当化されることは決して許されないと思いました。

### Q:今後は?

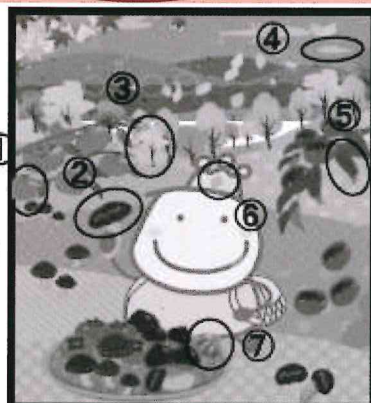
A;まずは、このような境遇の子供がこんなに大勢いるという事。また、育てられない親がいるという事実を認識しなくてはなりません。

そして、自分の周りにもそのような親子がいるかもしれない、と思って地域を見る事が必要です。

さらに、多くの地域の方に今回の研修で感じた事を伝えていかななくてはならないと思いました。



せいはい  
正解は



- ① 柿の木の柿1つが増えている。
- ② 「にこまる」の持っているキノコの傘が開いている
- ③ 木が1本増えている。
- ④ 雪が増えている
- ⑤ 栗の木の葉っぱが1枚増えている
- ⑥ 「にこまる」の王冠の模様がダイヤになっている
- ⑦ カゴの中のクリがハマグリになっている